

指導の狙い

場面の展開や登場人物の言動などに注意して朗読を工夫し、内容の理解を深めることができるようにする。

課題の見られた問題の概要と結果

B③一 物語について説明したものとして適切なものを選択する。	正答率 62.7%
B③二 物語に描かれている季節を選択する。	正答率 35.0%
B③三 朗読の仕方の工夫とその理由を書く。	正答率 60.4%

学習指導要領における領域・内容

〔第1学年〕 B 書くこと

ウ 伝えたい事実や事柄について、自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書くこと。

〔第1学年〕 C 読むこと

ウ 場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容の理解に役立てること。

エ 文章の構成や展開、表現の特徴について、自分の考えをもつこと。

授業アイデア例

学習の流れ

- 朗読CDを聞き、プロの読み手の工夫やその効果を確認する。
- 「走れメロス」を通読し、場面の展開や内容を大まかに捉える。
(第1時, 第2時)

朗読する場面を選び、表現の特徴や登場人物の心情や行動などを捉えて、朗読の仕方の工夫を考える。
(第3時)

- 二人一組で互いの朗読を聞き合い、朗読の仕方の工夫とその理由を交流する。
- 各場面の代表者で全編を朗読し、気付いたことを述べ合う。
(第4時, 第5時)

(言語活動) プロの朗読を参考に、「走れメロス」の一場面を工夫して朗読する。

教材例

- 朗読CDとその本文、だざいおさむ 太宰治「走れメロス」

第1時, 第2時

1 朗読CDを聞き、朗読の仕方の工夫について確認する。

朗読の際には、声の強弱、高低、緩急、間の取り方などに気を付けるということを学習してきましたね。

プロの朗読を聞いて、どのように読んでいるか、なぜそのように工夫しているのかなど、気付いたことや考えたことをワークシートに書きましょう。



教師

〔ワークシートの例〕

低い声でだんだん速く読んでいます。大変な状況に気が付いた犍陀多の焦っている気持ちがよく伝わってきます。

「何年にも」のところを強く、「しめた。しめた。」は小さく高い声で読んでいます。犍陀多が心の底から喜んでいよう感じがする。

あくとがわりのすけ (芥川龍之介「蜘蛛の糸」による。)

さすがプロだね。声の出し方を変えることで、作品に出てくる情景や登場人物の心情などの伝わり方も変わるんだ。私も朗読するとき、声の調子や大きさを変えることで場面の様子や登場人物の心情を相手に伝えたいな。



2 「走れメロス」を通読し、場面の展開や内容を大まかに捉える。

第3時

- 3 朗読したい場面を一つ選び、表現の特徴や登場人物の心情や行動などを捉えて、どのように朗読するのかを考える。その際、朗読の仕方の工夫（○）とその理由（▼）を付箋紙に記入し、教科書の該当箇所に貼る。

○ 気持ちを込めて読む。
▼ 王様が本当にそのようなひどいことをしているのかという信じられない気持ちと、現実を受け止めようという気持ちが表れている会話の場面だから。

○ 小さく低い声で、一言一言を区切ってゆっくり読む。
▼ 老爺は、できるだけ他の人に聞かれないように周囲の様子をうかがいながら話していると思うから。

……メロスは両手で老爺の体を揺すぶって質問を重ねた。老爺は、辺りをはばかり低声で、僅か答えた。
「王様は、人を殺します。」
「なぜ殺すのだ。」
「悪心を抱いている、というのですが、誰もそんな、悪心をもつてはおりませぬ。」
「たくさんの人を殺したのか。」
「はい、初めは王様の妹婿様を。それから、ご自身のお世継ぎを。それから、妹様を。」

(太宰治「走れメロス」による。)



「気持ちを込めて読む。」でよいのかな。



「気持ちを込めて読む。」では、どのように音声で表現するのが分かりませんね。○には、声の強弱や高低、間の取り方など声の出し方を具体的に考えてみましょう。

強い、弱い、高い、低いなどを決めないと、実際に声に出して読めないよね。



▼には、そのように読む理由を、本文に書かれている内容を基に説明するようにしましょう。

第4時、第5時

- 4 二人一組で、選んだ場面の朗読を聞き合い、朗読の仕方の工夫とその理由を交流する。



（「メロスとフィロストラトスとの会話」の場면을朗読する。）



メロスの言葉を速く勢よく読んでいたので、期限が迫り緊迫している様子が伝わってきました。

そのように伝わったのなら成功です。ここでは、メロスの焦りと固い決意とを表現したかったので、速度を速めながらもはっきりと大きな声で朗読しました。



- 5 各場面から選ばれた代表者で全編を朗読し、気付いたことを述べ合う。

留意点

- 朗読CDは必ずしも全編を聞かせる必要はない。小学校での朗読の学習を想起させ、朗読の仕方の工夫に気付かせることが大切である。
- 本単元の学習の流れは、他の文学的な文章の学習でも活用できる。